

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4507
24年12月17日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

年繁要求書に回答が行われる 誠意のない回答姿勢に強く抗議する！

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員が正社員化を。めいせ、均等待遇、なぐさし差別！ ユニオンは労基法裁判で勝利を収め、

おはようございます。早いもので12月も半月が過ぎ、お歳暮の下旬・中旬の以降出しゆうパックの配達まで終わりました。今年のゆうパック配達持ち出しのピーク予想日は12月11日でしたが、例年より少ない感じでした。今のところ大きな事故などは聞いていませんが、気を緩めずにやりましょう。

さて郵政ユニオンは、正常な業務運行を確保し、良質なサービスを提供することが郵便局の使命と考えます。その為には感染症防止策の徹底、必要な要員の確保、労働安全の徹底などが必要であり、業務に携わるすべての社員の労働条件の向上が不可欠です。



しました。この要求書について12月11日に長中局から回答が行われたので報告します。今回の要求書の回答期限は11月11日でした。組合の早期の回答の求めに対して、局は11月21日「誠意ある回答を行うため整理中」と回答を保留し、それから20日後の先週11日の回答でした。支部は回答期限を一か月も過ぎて、また年末年始繁忙期の真っ最中になつての回答に強く抗議します。

郵政ユニオンの年末年始繁忙要求と長中局の回答(抜粋)

- 3. 例年1月1日は年賀配達を担当する集配営業部の社員は7時出勤だが、元旦午前中配達という縛りもなくなって久しい。担当する社員の勤務開始は8時とすること。
局)年賀郵便の配達物数及び要員事情等を考慮し、総合的に判断した上で、効率的な出勤時間を検討する。
- 8. 年明け差出となる年賀状が増え、年明けの業務量が増加傾向にある。特に今年度は曜日配列の関係で連休明けの1月6日の配達困難が予想される。年明け以降の要員配置を含めた対策を明らかにすること。
局)日別の想定業務量に応じた要員配置を行うことが基本であり、今年の年末年始期においても安定した業務運行の確保が可能となるよう日別要員配置計画を策定する。
- 10. 昨年度から超勤時に取得していた15分の休憩時間が無くなった。この為、日勤者で3時間以上の超勤をした際に連続6時間以上勤務についている社員もいた。長時間の連続労働は事故誘発にもつながる。長中局における休憩・休息についての考え方を明らかにすること。
局)各職場内に社員就業規則等を配備しており、休憩休息の付与方法についても同規則等に則り適切に勤務時間管理を行う。
- 16. 役職者を中心に、超過勤務終了(打刻)後にも班長業務を行っている社員が見られる。年繁期における班長時間確保について長中局の考え方を明らかにすること。
局)時間外労働の命令は社員就業規則に則り適正に命じていく。

日労働は命じて行く」と回答するなど、半分弱の項目で組合の要求に即した回答を行わず、とても誠意ある対応とは言えないものでした。これは昨年も見られたもので、回答が遅れたことと合わせ「本場に誠意ある」対応を行うように抗議の申し入れを行いました。

や休憩時間中に居住確認などの作業をしていることから、時間前着手を撲滅するための具体的な対策
・ 例年12月は駐車が普段以上に混雑する。駐車場内の赤ポストへの差出だけのお客さまも多い。お客様サービスを含めた管理者を常駐させるなどの対策

その他、一昨年度の「勤務時間制度の見直し」に伴う、超勤の場合の長時間連続勤務対策について、疲労や集中力の低下から事故にもつながりかねない重要な問題だとして、特例休息を含めた休憩休息の取得について再度の説明を求めました。

